

エコアクション21



環境経営活動レポート

対象期間:2019年10月1日～2020年9月30日



2020年11月1日発行



株式会社高田商店

- 1、組織の概要
- 2、環境管理組織体制
- 3、環境方針
- 4、環境目標
- 5、環境活動計画・実施状況評価
- 6、取組結果とその評価及び次年度の取組内容
- 7、環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
- 8、環境活動その他取組
- 9、代表者による全体評価と見直しの結果



1、組織の概要

(1)事業所名及び代表者氏名

株式会社高田商店
代表取締役 塚原吉雄

(2)所在地

〒252-1124
神奈川県綾瀬市吉岡1639-5

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 専務取締役 塚原吉隆
TEL 0467-70-3204
FAX 0467-70-3302
E-mail tkd@takada-shouten.co.jp

(4)事業活動の内容

本社： 建物解体工事業
建設業許可： 神奈川県知事許可(般-30)第46809号

【産業廃棄物収集運搬業】

神奈川県許可番号01402043241
許可年月有効期間：平成28年12月13～平成33年11月15日
東京都許可番号 第13-00-043241
許可年月有効期間：平成30年3月31日～平成35年3月30日

種類：燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、水銀動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、鋳さい、がれき類、ばいじん（石綿含有産業廃棄物を含む）（水銀使用製品産業廃棄物を含む）（水銀含有ばいじん等を含む）

(5)事業の規模

	2019年度	2020年度
従業員数(人)	14	16
工事件数(件)	163	160
売上高(百万)	217	234
延床面積(m ²)	115.5m ²	115.5m ²
延面積(m ²)	826m ²	826m ²

(6)設立年月日

昭和60年3月30日

(7)資本金

1000万円

(9)受諾した産業廃棄物収集運搬量

2019年	5,918t
2020年	3,480t

(8)収集運搬車両の種類と台数

2tダンプ：1台 3tダンプ：1台 3tフックロール：2台
4tダンプ：2台 4tフックロール：1台

2. 対象範囲

(1)認証・登録対象組織

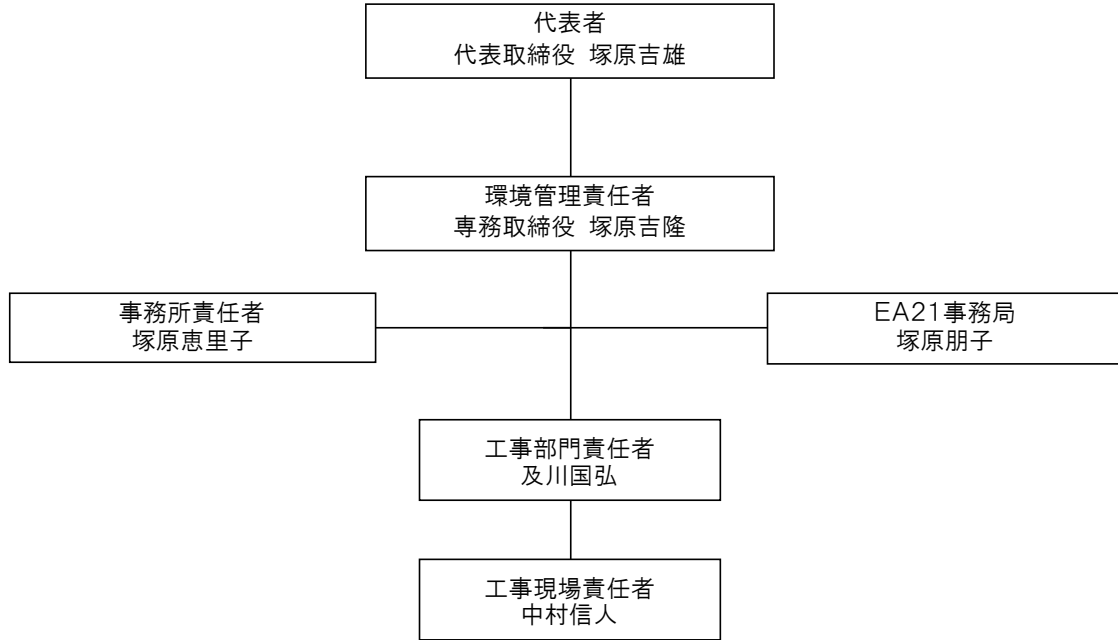
本社及び資材置き場(本社と同一敷地)

(2)認証・登録対象活動

すべての事業活動

2、環境管理組織体制

建設実施体制及び責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定 6. 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応の手順書作成、テスト、訓練を実施し記録を作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 6. 建設現場の作業員への簡単な教育(騒音、振動、廃棄物、省エネ、省資源、緊急時対応)、指示 * 下請等の協力会社作業員含む
従業員	1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。 2. 下請等の協力会社作業員も簡単な教育、指示に従って活動する。

3、環境経営方針

環境経営方針

【 基本理念 】

当社は建物解体業を業とし、廃棄物を分別し環境経営を進めることにより、環境に優しい社会の実現に貢献します。

すなわち、資源再生・リサイクルを拡大・充実することにより、国の推進する循環型社会の実現、地球環境保全に貢献します。

また、継続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進することで生産性を高め長期的な経済成長を継続させることに努めます。

SDGsとマッチングすることで、より効果が期待できます。

《 行動指針 》

当社は上に掲げた基本理念に基づき、事業活動における環境への影響を社員全員が以下の項目につき積極的に取り組みます。

1、国・地方自治体などの環境に関連する規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守することはもとより、自主管理基準を設定して、継続的に汚染の予防に努める。

2、地球環境保護のために、省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進します。

① 二酸化炭素の削減

- ・燃料（軽油、ガソリン）使用量の削減
- ・電気使用量の削減

② 総排水量の削減

③ 廃棄物排出量の削減



3、分別解体により、産業廃棄物の再資源化を推進し、最終処分量の削減に取り組みます。

4、環境意識の教育を推進します。

5、環境方針は、すべての従業員に周知します。



2019年 10月 1日制定
株式会社高田商店
代表取締役 塚原吉雄

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

4、環境経営目標

環境経営目標		基準	2020年度 2019/10-2020/9	2021年度 2020/10-2021/9	2022年度 2021/10-2022/9
		2019年度 2018/10-2019/9			
電力使用量の削減	事務所	11,857kWh (実績)	11,821kWh (0.3%減)	11,798kWh (0.5%減)	11,774kWh (0.7%減)
車両燃料使用量の削減	事務所 (自動車)	3,841L	3,830L (0.3%減)	3,822L (0.5%減)	3,814L (0.7%減)
	現場 (重機)	34,688L	34,584L (0.3%減)	34,514L (0.5%減)	34,445L (0.7%減)
	合計	38,529L	38,414L (0.3%減)	38,336L (0.5%減)	38,259L (0.7%減)
二酸化炭素排出量の削減	事務所	17,149kg-CO2 (実績)	17,097kg-CO2 (0.3%減)	17,063kg-CO2 (0.5%減)	17,029kg-CO2 (0.7%減)
	現場	89,495kg-CO2 (実績)	89,226kg-CO2 (0.3%減)	89,047kg-CO2 (0.5%減)	88,868kg-CO2 (0.7%減)
	合計	106,643kg-CO2 (実績)	106,323kg-CO2 (0.3%減)	106,110kg-CO2 (0.5%減)	105,897kg-CO2 (0.7%減)
廃棄物の削減	事務所	141Kg (実績)	140Kg 0.7%減	139Kg 1.4%減	138Kg 2.0%減
混廃率の削減	現場	(対全建設廃棄物 排出量) 7% 維持	(対全建設廃棄物 排出量) 7% 維持	(対全建設廃棄物 排出量) 7% 維持	(対全建設廃棄物 排出量) 7% 維持
水の削減	事務所	170m3 (実績)	169 m3 0.6%減	168 m3 1.2%減	167 m3 1.8%減
環境配慮施工の取り組み	現場	騒音振動の配慮等	騒音振動の配慮等	騒音振動の配慮等	騒音振動の配慮等

注(1)令和元年度のロージャパン(株)のCO2排出係数：0.499kg-CO₂/kWh

注(3)化学物質は使用していない

注(4)二酸化炭素排出量に灯油とガスも含む

注(4)基準年度2019年度混廃率以外は実績値とする

5、環境経営計画・実施状況評価

評価 ○：達成 ×：未達 □：計画 ■：実施

NO.	2020年度目標	施策	責任者	2019年			2020年									合計実績値
				10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
電力削減	事務所	11,821KWh	・パソコン管理（電源OFF）の適正化	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			・エアコン温度設定最適化	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			計画電力使用量	843	914	937	994	954	801	915	940	901	958	1,438	1,225	11,821
			実績電力使用量	1,069	953	929	958	1,073	837	860	809	1,021	1,038	1,318	1,528	12,393
			計画累計	2,695			2,749			2,757			3,621			11,821
			実績累計	2,951			2,868			2,690			3,884			12,393
			評価	×			×			○			×			
車両燃料使用量の削減	事務所	3,830L	・エコドライブの徹底	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			・車両の点検整備	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			計画燃料使用量	235	484	368	438	214	456	267	252	139	399	263	314	3,830
			実績燃料使用量	230	301	268	316	269	293	208	145	340	239	273	286	3,168
				計画累計	1,086			1,108			659			976		3,830
				実績累計	799			878			692			798		3,168
				評価	○			○			×			○		
	現場	34,584L	・エコドライブの徹底	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			・車両の点検整備	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			計画燃料使用量	4,558	3,799	2,623	2,738	3,612	3,535	2,615	1,910	2,485	2,054	2,089	2,566	34,584
			実績燃料使用量	2,262	2,514	2,280	5,197	3,395	2,976	3,884	2,346	3,349	2,865	2,675	3,095	36,838
				計画累計	10,980			9,885			7,010			6,709		34,584
			実績累計	7,056			11,568			9,579			8,635		36,838	
			評価	○			×			×			×			
合計	38,414L	計画燃料使用量	4,793	4,282	2,991	3,176	3,827	3,991	2,882	2,163	2,624	2,453	2,352	2,880	38,413	
		実績燃料使用量	2,492	2,815	2,548	5,513	3,664	3,269	4,092	2,491	3,689	3,104	2,948	3,381	40,006	
		計画累計	12,066			10,993			7,669			7,685			38,413	
		実績累計	7,855			12,446			10,271			9,433			40,006	
			評価	○			×			×			×			
二酸化炭素排出量の削減	事務所	17,097 kg-CO2	・電力、化石燃料使用量の削減	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			計画排出量	4,413	5,460			3,056			4,168			17,097		
			実績排出量	4,684	5,182			3,410			3,795			17,070		
				評価	×			○			○					
	現場	89,226 kg-CO2	・電力、化石燃料使用量の削減	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			計画排出量	28,328	25,504			18,086			17,309			89,226		
			実績排出量	18,203	29,844			24,714			22,278			95,040		
				評価	○			×			×					
	合計	106,323 kg-CO2	計画排出量	32,741	30,964			21,141			21,477			106,324		
			実績排出量	22,887	35,026			28,124			26,073			112,110		
評価			○			×			×			×				
廃棄物の削減	事務所	140Kg	・一般廃棄物の分別	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			・紙類のリサイクルの徹底	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			計画排出量	14	12	12	11	8	13	13	13	11	13	10	10	140
			実績排出量	13	15	12	11	10	12	11	11	12	12	9	9	137
			計画累計	38			32			37			33			140
			実績累計	40			33			34			30		137	
			評価	×			×			○			○			
再資源化	現場	7.0% (維持)	・分別の細分化	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			・分別の徹底	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			計画混廃率 (%)	7.0			7.0			7.0			7.0		7.0	
			実績混廃率 (%)	5.2			4.9			4.5			2.5		4.2	
			評価	○			○			○			○			
水の削減	事務所	169m3	・節水コマ、元栓絞込	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			・水の出し方に気を付ける	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			計画使用量	41			42			39			48		169	
			実績水使用量	35			41			49			47		172	
			評価	○			○			×			○			
環境配慮	全体	環境配慮施工の振動、騒音の配慮等 (100%で達成とする)	・対象環境配慮施工の特定	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			・騒音、振動の配慮	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			・環境配慮施工の新規開発	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			環境配慮工事実施件数	19/19	12/12	16/16	11/11	10/10	22/22	15/15	13/13	8/8	14/14	10/10	10/10	160/160
			評価	○			○			○			○			

6、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

環境目標と実績	場所	2019年度 (基準値)	2020年度（2019年10月～2020年9月）			
			目標値	実績値	達成区分	評価及び次年度の取組内容
1、二酸化炭素排出量の削減 (Kg-CO ₂)	事務所	17,149	17,097	17,070	-	項目別に記載
	現場	89,495	89,226	95,040	-	
	全体	106,643	106,323	112,110	-	
①電気使用量の削減 (kWh)	事務所	11,857	11,821	12,393	○	エアコンを1台増設したが、不在箇所・昼休みの電気消灯や空調温度の適切な温度管理など取組は継続出来ており、達成率95.4%と目標達成することが出来た。
	事務所	3,841	3,830	3,168	○	エコドライブの徹底によりガソリン使用量の目標値を達成することが出来た。継続して取り組む。
	現場	34,688	34,584	36,838	○	工事規模や施工内容により現場での使用量は大きく変動するが、順調に取組が進み達成率93.9%と目標達成することが出来た。継続して取り組む。
2、一般廃棄物排出量削減 (Kg)	事務所	141	140	137	○	両面印刷や裏紙利用が定着している。今後も継続して取り組む。
3、混廃率の削減 (%)	現場	7	7	4	○	順調に取組を継続し、目標達成。引き続き分別作業に取り組む。
4、水使用量削減 (m)	事務所	170	169	172	○	数値目標に対しては未達成だが、98%達成しているので、今後も継続して取り組む。
5、環境配慮施工の取組	現場	騒音振動の配慮等	騒音振動の配慮等	騒音振動の配慮等	騒音振動の配慮等	解体工事作業中の振動騒音を抑え、全ての工事に対して近隣に配慮した施工を行った。

○→達成（90%以上で達成） ×未達成

取組項目	施策	評価	
①電気使用量の削減	事務所	・電気をこまめに消す	○
		・エアコン温度設定の最適化	○
		・昼休み中の消灯	○
		・使用しない際はパソコンの電源を切る	○
②車両燃料使用量の削減	事務所	・ハイブリット車の導入の検討	○
		・エコドライブを心掛ける	○
		・効率的な交通ルートを選択	○
	現場	・重機の過剰な負荷をかけない	○
	・急発進、急加速、急停車をしない	○	
	・効率的な交通ルートを選択	○	
③一般廃棄物排出量削減	事務所	・一般廃棄物の分別	○
		・裏紙の使用を徹底する	○
		・無駄な印刷をしない	○
④混廃率の削減	現場	・分別の細分化	○
		・分別の徹底	○
⑤水使用量削減	事務所	・水道メーターの確認実施	△
		・水の出し方に気を付ける	○
		・適正な散水	○
⑥環境配慮施工の取組	現場	・振動騒音対策を実施する	○
		・粉塵対策の徹底（散水）	○

○→実施 △→一部実施 ×→未実施

7、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

見直し日：2019年9月1日

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

遵守評価日：2020年9月15日

No	法律・条例・その他名称	該当する要求事項	環境に係る機械設備・作業等	当社の対応状況	責任者	評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬業の許可 マニフェスト交付 書類の保管は5年間 マニフェスト交付状況報告 委託契約 産廃運搬者表示、書類携帯 不法投棄の禁止	解体物の収集運搬 マニフェストの交付 マニフェストの保管 報告書の提出 産業廃棄物の処理委託 収集運搬 投棄禁止の順守 産業廃棄物の保管 (水銀使用製品含む)	産業廃棄物収集運搬許可（東京都） 産業廃棄物収集運搬許可（神奈川県） マニフェストの交付 マニフェストの保管 報告書 契約書の保管 表示、書類携帯 掲示、混合防止の仕切り保管 投棄禁止の順守	塚原	○
2	騒音規制法	特定建設作業実施の届出 <規制基準> ・8時～18時 55dB以下 ・18時～23時 45dB以下	解体作業	対象施設ではないが地域住民に配慮して作業	塚原	○
3	振動規制法	特定建設作業実施の届出 <規制基準> ・8時～19時 65dB以下 ・19時～8時 55dB以下	解体作業	対象施設ではないが地域住民に配慮して作業	塚原	○
4	浄化槽法	浄化槽管理者の義務 浄化槽の保守点検 浄化槽の清掃	浄化槽	浄化槽の保守点検 浄化槽の清掃	塚原	○
5	消防法	火災の予防	解体作業	火災の予防 現場に消火器の設置	塚原	○
6	使用済自動車の再資源化等に関する法律	使用済自動車の引渡義務		引取業者への引渡	塚原	○
7	自動車No x・PM法	排出基準 H17年規制適合車	ディーゼル車	適合車 車両へのステッカーの貼付	塚原	○
8	オフロード法	特定特殊自動車からの排出 ガスによる大気汚染の防止	解体作業	建設用ブルドーザ トラックショベル (基準適合表示)	塚原	○
9	フロン排出抑制法	フロンガスの適切な処置	フロン含有機器の撤去	引取業者への引渡	塚原	○
10	家電リサイクル法	エアコン、TV、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機 適切な引渡、再商品化等に関する料金の支払い 製造業者等への引渡	解体作業	適切な運搬	塚原	○
11	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	自動車の駐車時における原動機の停止	全車両	アイドリングストップ	塚原	○
12	グリーン購入法	事業者及び国民の債務		出来る限り環境物品等を選択する	塚原	○
13	建設業法	建設業の許可		5年ごとに更新	塚原	○
14	建設リサイクル法	分別解体の対象工事 ・解体 床面積80㎡以上 ・新築、増築 500㎡以上 再資源化等の実施義務 解体場事業の登録	解体作業	分別解体計画書 分別解体届出書	塚原	○
15	労働安全衛生法	石綿取扱場所の掲示		作業上の労働者の見やすい個所に掲示	塚原	○
16	綾瀬市環境基本条例	良好な環境の保全等	解体作業	環境への負荷の低減 公害の発生を防止 廃棄物の発生の抑制	塚原	○

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

8、環境活動その他取組

・事業所内LED照明

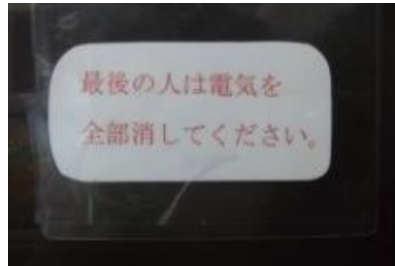
1F 事務所



2F 事務所



・照明スイッチ節電



・エアコン節電



・再生紙の活用



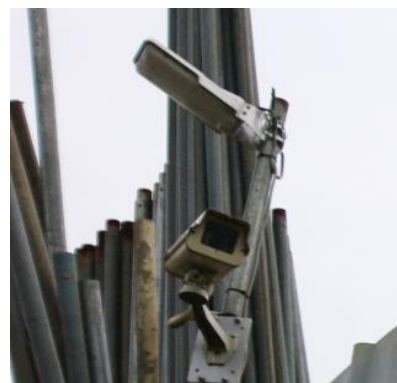
・節水の呼びかけ



・手元バルブ



・防犯カメラ設置及び外部LED照明設置



・会社周辺清掃



・安全衛生教育



・毎日の朝礼



・廃棄物分別



・エコキャップの推進



・ブラインドカーテン



・シュレッダー機



・コピー機省エネ設定



・1F、2Fエアコン入替



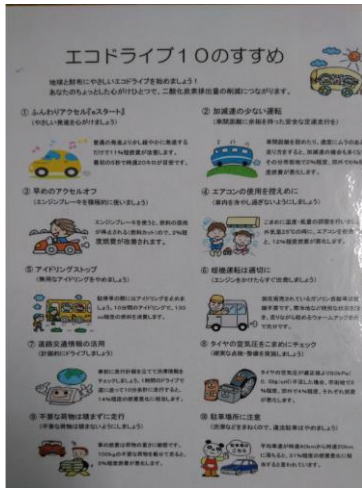
・ドライブレコーダー各車搭載



・5S運動の呼びかけ



・エコドライブの呼びかけ



・無事故推進運動の実施



【綾瀬市建設業協会】

災害時に使用する災害復旧車輛



【消防団】

消防消火栓点検



9、代表者による全体評価と見直しの結果

2013年7月より環境保全活動に取り組んできた上で、環境保全活動に対する意識が高まっているように思える。

軽油の使用量については、工事現場の場所、規模や内容が毎回同じでは無い為、継続して目標達成することが厳しいところではあるが、今後もエコドライブなどを改めて徹底していくことを心掛けていくように勧めていきたいと思う。

1階事務所にエアコンを1台増設した為、電気使用量は昨年度より増加したものの、達成率が95.4%であった為、目標達成することが出来た。

今後も環境に対して更に意識を高めるよう努力し、取組を継続していくと共に、社員一丸となって務めていきたいと思います。

株式会社 高田商店
代表取締役 塚原吉雄